

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

北薩教育事務所便り

平成29年度 第5号 12月15日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8772

FAX：0996-25-3095

多面的・多角的に物事をみる（経済的な視点を例に）

北薩教育事務所 指導課 堀口 俊雄

「ハイブリッド車とガソリン車、どちらを買いますか？」

この問いの答は、購入者の自由である。スタイリングが好きだから・・・、環境に優しいから・・・、マニュアル車が好きだから・・・など、理由も様々であろう。

3～4年前に、ハイブリッド車とガソリン車について調べたことがある（T社の同一車種のハイブリッド車とガソリン車を比較、表、図を参照）。その当時は、ガソリンが1リットル当たり160円程度であった。燃費性能を比較し計算すると、13万7千km走って、購入時の価格差を解消することになる。意外な数字ではなかろうか。先日のガソリン価格は120円だったので、これで計算すると17万7千kmがコスト均衡点となる（当然、実際の燃費は、道路事情や運転の仕方等によって異なり、今回の計算方法が必ずしも最もよい方法とは限らない）。この数字を、どう捉えるかは、もちろん人それぞれであるが、車を購入する際の視点に加える人がいるかもしれない。

このように、経済的な視点から物事をみると、いわゆる費用対効果的な発想が生まれ、日常での選択の場面における判断の視点を増やすことにつながるのではないだろうか。

表 ガソリン車とハイブリッド車の比較

	燃費	1km当たり	車両価格
ガソリン車	20.0km	8.0円	1,650,000円
ハイブリッド車	33.0km	4.9円	2,075,000円

※レギュラーガソリンの価格を1リットル160円で設定

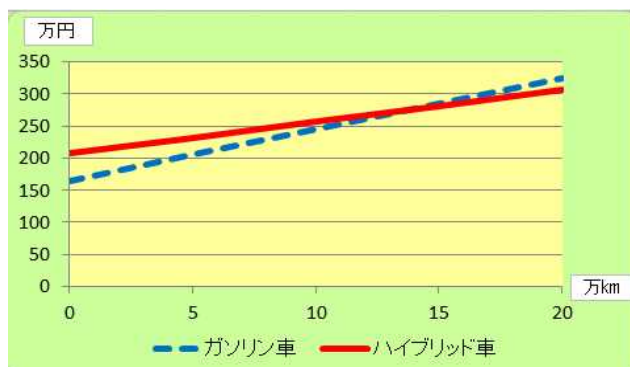


図 ガソリン車とハイブリッド車のコスト均衡点

主体的・対話的で深い学び

〔さつま町立薩摩中学校〕

本校では49人の個性を大切にしながら、基礎的・基本的な学習事項の定着に努め、自分の考えを伝えるとともに、相手の考えを良く聞き、認め合い、高め合う授業の実践に心掛けています。

「数学」 日々の積み重ねの中で考える力を養う



実験の結果を基に話し合う様子

興味・関心を高めるために、教材教具の工夫をしている。また、個で見通しをもたせ、体験的な活動やペアやグループ活動を通して、多様な意見に触れることで自分の考えを深め、積極的に課題解決に取り組むようになった。

「英語」 生活の中で活用できる英語の力を養う



ALTと電話で会話する
～Are you free on Sunday?～

実践的な力を養うために「話すこと」を重視した取組を進めている。スキットやスピーチの課題に取り組みせたり、ALTからの質問に対応したりする学習を通して、英語で表現しようとする意欲や表現力が高まっている。

個々の生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着の見届けが大切だと考え、徹底させている。また、課題の出し方や教材・教具の工夫、目的に応じた学習形態の工夫によって、知識や技能を活用する場面において、生徒が意欲的に活動するようになった。学年を重ねるごとに学習に取り組む姿勢がより一層主体的なものとなり、学力向上につながっている。

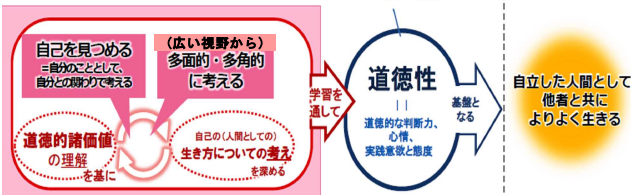
〈教育事務所から〉

「知識・技能等を実社会や実生活の様々な場面に活用する力」が求められています。授業づくりにおいては、「活用力」を高める学習指導を積み重ねていくことが大切です。薩摩中学校の授業改善の視点や取組は、大いに参考になります。

「考え、議論する道徳」の実現に向けて

〈道徳科の目標の構造〉(H29年度道徳教育指導者養成研修ブロック説明会資料より)

道徳性を養うために行う道徳科における学習



道徳科の目標には、道徳性を養うために「必要な学習の過程(学習活動)」が明示されています。この目標の構造をしっかりと理解することで、授業をどのように構築していけばよいか分かります。具体的には、「道徳的諸価値を理解する」「自己を見つける」「多面的・多角的に考える」「自己の生き方についての考えを深める」ことができるような学習活動を考え、どんな発問や学習形態等で、どのように展開していくかをイメージすることが大切です。

県・地区研究指定校公開

県・地区指定の研究公開の様子を紹介します。なお、3学期は、以下の学校で開催されます。

長島町立蔵之元小学校 平成30年1月25日(木)
書くことで思いや考えを明確に表現できる力をつける国語科学習
阿久根市立阿久根中学校 平成30年2月9日(金)
「ひとみ輝く」生徒を目指し、自分らしい生き方を実現するキャリア教育の実践

長島町立平尾小学校 平成29年10月26日(木)

生き生きと学び合い、思考力・表現力を育む算数科学習

子供たちの数学的な見方・考え方を促す発問の工夫や多様な考えを分類・整理するための働き掛けを通して、思考力を高めていました。また、子供同士の「問い返し」や話し合いカードの活用によって、表現力を高めていました。



【班で考えをまとめている姿】

さつま町立中津川小学校 平成29年10月31日(火)

自分の思いや考えを持ち、豊かに表現できる児童の育成

「少人数・複式指導」の研究協力校として、国語科の2つの公開授業が行われました。特に「書く力」を高めるための手立てを中心に、モデル文の提示や異学年での活動の位置付け等、様々な工夫を行い、改善を図っていました。



【グループ活動の様子(2年)】

薩摩川内市立川内南中学校 平成29年11月15日(木)

夢かなえる 力はぐくむ 心豊かな生徒の育成

全教科の学習指導案に研究の柱である「生徒の主体的な活動」、「対話的な活動」、「成就感を体得させるための充実」を位置付け、全校体制で自己肯定感の醸成と学習意欲を高めるための授業づくりを実践していました。



【グラフの特徴を捉える活動の様子】

阿久根市立山下小学校 平成29年11月28日(火)

多様な価値観に気付き、よりよい生き方を自ら追求する児童の育成

発表ボードに自分の考えを書かせ、ペア等でのフリートークが活発に行われていました。話し合い活動を重視することで、互いの考えの違いに気付き、自分の考えを深めている様子がよく現れている道徳の授業が行われていました。



【フリートークの様子(1年)】

長島町立鷹巣中学校 平成29年12月1日(金)

運動の楽しさや喜びを味わい、積極的に体力づくりに取り組む生徒の育成

体力向上に向け、運動有能感を高める工夫や保健面からのアプローチ、生徒会の取組等多数の実践が積み重ねられていました。授業では、生徒が、肯定的な雰囲気の中で、自信をもってバレーボールの授業に取り組んでいました。



【体育での話し合い活動の様子】

年末年始における綱紀の保持について

年末年始を迎え、仕事も忙しくなり、慌ただしさを増してきました。また、飲酒の機会も増える時期になります。そのような時期だからこそ、冷静な正しい判断が求められています。北薩地区では、2学期以降の交通違反・事故が後を絶たなかったため、11~12月にかけて、全ての小・中・義務教育学校で交通違反・事故を中心とした服務規律に関する校内研修の実施をお願いしました。校内研修で学んだことを胸に刻み、教育に携わる職員としての自覚を堅持するよう、お互いに注意喚起していきたいものです。

そのスピードで大丈夫ですか。

前日のお酒は残っていませんか。

机の中に現金はありませんか。

個人情報を持ち出していませんか。

その言動はハラスメントになっていませんか。

授業で実践!! ワンポイントアドバイス①

子供と目を合わせる。

授業は、子供と目を合わせながら進めることが大切だ。1単位時間の中で、子供一人一人に視線を向け、意識して目を合わせる。教師から、しっかり見られていると子供が感じることで集中にもつながり安心にもなる。

編集後記

今年度公開予定7校のうち、5校の研究公開が開催されました。どの学校の研究も児童生徒の実態に即した、充実した取組がなされていました。各学校の秀逸な授業を参観し、様々な学校の先生方と意見交換をする中で、学力向上やそれぞれが抱える課題の解決につながるヒントを得られます。今後も研究公開への積極的な出席をお願いします。